

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：なかよしこども園	種別：認定こども園（保育所型、幼保連携型に限る）
代表者氏名：菅野 清孝	定員（利用人数）： 135名（138名）
所在地：〒245-0021 横浜市泉区下和泉 3-27-11	
TEL：045-802-0566	
ホームページ： <a href="http://nakayoshi-kodomo.ac.jp/">http://nakayoshi-kodomo.ac.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 1965年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 学校法人 友遊学園		
職員数	常勤職員： 18名	非常勤職員（嘱託等含む）： 35名
専門職員	保育士： 32名	管理栄養士： 1名
	調理師 1名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室9室、事務室1室、給食室1室、職員休憩室1室、ホール、予備室	

なかよしこども園は、横浜市営地下鉄立場駅からバスに乗り通信隊前バス停から歩いて10分ほどの所にあります。園は、2018年（平成30年）4月に幼保連携型こども園となりました。園の母体である「なかよし幼稚園」は昭和40年に横浜生協により設立し、その後保護者と職員による自主運営の時代を経て昭和52年に学校法人友遊学園となりました。木造一部2階建ての園舎は広々として明るく、木のぬくもりが感じられます。1階中央には天窓のついた広いホール（中広場）があり、2階部分には保護者の活動に使っているコミュニティルームがあります。乳児の保育室はウッドデッキで結ばれた別棟にあります。大型遊具や砂場が設置された広々とした園庭の隣には通信隊跡地の原っぱが広がっています。園庭の一隅には山羊や鶏がいる動物小屋があり、さらに園外には園の畑があり、野菜を栽培しています。定員は、幼稚園部（満3歳～就学前）が90名、保育部（産休明け～就学前）が45名です。保育園の開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～19時、土曜日は7時～18時です。

### ③理念・基本方針

なかよしこども園は創立以来半世紀の間、いつの時代も「子ども中心の園づくり」を大切にしてきました。この中で子ども達の健やかな育ちは、園と保護者の方との協力共同の上に成り立つことを、なかよしの歴史から学ぶことができます。

そうした大人たちの営みに囲まれて、子ども達は安心して気持ちを開放し、その子らしい姿に自信を持って育っていきます。

「子どもは自らの力で育つ」それを応援するのが大人たちの役割です。

#### 保育方針・保育目標

「なかよし」は子ども達の広場です。

1. 自然の体験：土や水、草花や生き物、園の動物たちに触れ感性が育まれます
2. 人と関わる：社会生活を営むルールを学び、豊かな心を育てます
3. あそび：自分の興味や関心をもとに、認識力や思考力、創造性を伸ばし、身体機能を発達させます

これらの環境の中で

1. お互いを認め合い、人を大切にする子
  2. 仲間の中で、はっきりと自分の気持ちがだせる子
  3. みんなと力を合わせることの喜びを知り、大切にする子
  4. 心と体、そして知恵やバランスが取れて発達している子
- こんな子ども達が育つことを目標としています

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・近年は職員が性教育を学んでいます。子どもの人権を保障し、ひとりひとりを大切に、という保育の原点を大事に…性教育の視点を保育や環境構成に生かしています。近隣の保育園の先生方とも性教育について語る会を月に1回開催しています。
- ・子どもがまんなか。職員と保護者が一緒に子育てをし、子どもの心を豊かに育みます。PTA 活動も盛んで行事にも太鼓、コーラス、人形劇などサークル披露で参加してくれます。
- ・結果よりプロセスを大切にした保育。遊びや活動を通して、興味・関心・知的好奇心を満たしながら様々なことを試したり考えていきます。友だちとぶつかり合うことや、協力し合う喜びや楽しさ、人と繋がる心地よさなど、色々な気持ちを味わっていきます。
- ・安心で安全な食材（農薬や添加物の少ないもの）を使った自園調理の和食を中心とした給食を提供しています。また、地域の方に畑を手伝っていただき、収穫やクッキング、地域の田植え・稲刈りにも参加させてもらうなど、食育にも力を入れています。
- ・園で動物や生き物を育てています。（やぎ、にわとり、うさぎ、カメ、メダカなど…）年長の子どもたちが毎日当番でお世話をしています。新入園の子にとっては、動物の存在が癒しになり、餌をあげたり抱っこをして気持ちがあぐれていきます。生き物を通して命の大切さも伝えています。
- ・さくらの木…卒園児が学校で不登校や行き渋りなどでつまずいた時に、なかよしでちょっと一息つけるように、居場所として開設しています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月1日（契約日）～2023年4月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2010年度）

#### ⑥総評

##### ◆特長や今後期待される点

##### 【特長】

##### ●保育士の見守りのもと、子どもたちは遊びを通して様々な学びを得ています

園の理念に「大人たちは子どもの力を信じて寄り添い、励まし、応援する」と明示し、保育士は、一人ひとりの子どもの発達や発達過程、家庭状況の違いを受け止め、一人ひとりに応じて対応しています。子どもたちは、中広場やデッキ、園庭を自由に行き来し、思いっきり身体を動かして遊んでいます。異年齢で関わって遊ぶことも多く、園庭で鬼ごっこやドッジボールが始まるとクラス以外の子どもも参加したり、応援するなど、遊びを通して人間関係が育まれています。保育士は、子どもの遊ぶ様子を見守り、遊びを見つけられない子どもには寄り添い、一緒に遊びを見つけています。また、隣接する通信隊跡地の原っぱや林など豊かな自然環境を生かし、園内の動物との触れ合いや畑での野菜の栽培だけでなく、メジロやムクドリ、シジュウカラなどを図鑑化したり、コオロギ、トカゲを採取したり、散歩で見つけた野蒜を採取して帰り、園で餃子の具にして食べたりなどしています。季節の製作や手遊び、劇作りなどの表現活動も取り入れています。

保育士に優しく見守られ、子どもたちはのびのびと自分らしさを発揮し、遊びを通して様々な学びを得ています。

### ●地域のニーズに応じた多様な子育て支援を実施しています

地域の要望を受けて設立されたという園設立の経緯もあり、事業計画、全体的な計画に地域との関わり方について明記し、地域との関係づくりに力を入れています。園長は、泉区保育園園長会を始めとして下和泉地域ケアプラザ子育てサロン連携など各種会議に参加し、地域の課題やニーズを把握し、協働して課題解決に向けて取り組んでいます。園の子育て支援としては、子育て相談、食育相談、一時保育、園庭開放（月～金）などを実施しています。さらに、未就園の親子を対象とした子育てサークル「ひよこサークル」を開催し、散歩や園庭・室内での親子遊びなど、計画的に様々なプログラムを組んでいます。また、主に卒園生を対象とした保護者が運営する「てらこや」、卒園生を対象とした学校に行きたくない時の避難場所「さくらの木」、カウンセラーを講師にした「なかよしゼミ」と教育相談などを幅広く展開し、卒園生や地域のニーズに応えています。地域の祭りで子どもたちが踊りを披露したり、地域自治会の田んぼで田植えや稲刈りに職員や保護者・子どもが参加するなど、地域の活性化にも貢献しています。このように、園は様々な取り組みを積極的に行い、地域の福祉施設として地域に根差しています。

### 【今後に期待される点】

#### ●中長期計画とそれを踏まえた事業計画を策定していくことが期待されます

将来的な構想はありますが、それらを文書化し、中長期計画としてまとめることはしていません。また、単年度の計画はあるものの、実施状況を評価するための具体的な成果や数値目標などは記載されていません。中長期計画とそれを踏まえた事業計画を策定し、計画的に取り組んでいかれることが期待されます。

#### ●文書化への取り組みが期待されます

「苦情解決」「感染症への対応」「事故防止・事故対応」等のマニュアルを定めていますが、必要なことは職員会議などで、都度周知しているなどの理由で、倫理綱領や職務分掌、虐待対応など文書化されていないものや園として取り組むべき課題を明確化されていないものがあります。文書化することで、園の基本方針や姿勢、取り組みの目的や想定されるリスクなどが明確になり、職員が意識をして業務にあたり、見直すことで、質の保障にもつながります。また、園が長い歴史の中で培ってきたノウハウを、次世代につないでいくこともできます。今後の取り組みが期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

長期間にわたっての第三者評価となりました。

前回調査が2010年だったのでずいぶんと間が開いてしまいました。

幼保連携こども園に求められる機能は、幼稚園、保育園機能の他に市型預かり、一時預かり、満3歳児保育、地域の子育て支援など、多岐にわたります。

20代で入職した職員が30代になり家庭を持ち子育てをしながら仕事を続ける方々も増えてきました。

子どもたちの生活をどう楽しくしようか、子どもたちの興味や関心は今どこにあるんだろう・・・職員間で話し合いながら作ってきたなかよしの保育ですが、そもそも職員間で話し合う時間がなかなか取れにくい現状があります。

非常勤職員の方の数も多くなり、常勤職員との情報共有も課題です。

市民セクターよこはま調査員の方々から指摘された文章化、掲示物などでの可視化やマニュアル化は、そんななかよしの現状、働き方改革に必要な指摘であったと思います。

保護者、職員の皆さんからも貴重なご意見を多々いただきました。

改善すべき点もあげながら、多くの方はなかよしの保育を支持していただきました。

この結果は、運営している立場の人間にはもちろん働いている職員にも今後の保育を進めていく上で励みになると思います。

今後も子どもを中心に、職員、保護者いっしょに子どもたちを育てていく共同養育を柱にして保育・運営に努めたいと思います。

調査員の方々お疲れさまでした。ありがとうございました。

理事長 川島佐和子  
前園長 菅野清孝  
現園長 小宮知子

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり